

ともしび ブダより

第99号



社会福祉法人

依田窪福祉会

事業別連絡先一覧

●法人本部

☎85-2202

[E-mail] info@yodakubofukushikai.jp

[U R L] <http://www.yodakubofukushikai.jp/>

●依田窪特別養護老人ホーム

☎85-2218

●短期入所生活介護事業

●依田窪福祉会居宅介護支援事業

☎85-2047

●相談支援事業 花もも

●寄り合い処 なすな

☎75-0522

●デイサービスセンター 武石 ☎75-0522

●ヘルパーステーションこすもす ☎85-0098

●デイサービスセンター 長門 ☎68-0226

●小規模多機能型居宅介護 大門の家 ☎41-2123

●デイサービスセンター 和田 ☎88-0077

●高齢者生活福祉センター

●グループホーム和田

☎88-0088

就任のご挨拶



理事長
吉池 順一

令和6年6月14日に行われました理事会の決定を受け、渡邊和美前理事長から、理事長の職を引き継ぐこととなりました。この職をお受けすることは身に余る大任ではありますが、精一杯この職に取り組む所存であります。

私は、これまで、長門町役場職員、民間会社勤務、事業者様・行政事業のIT関連・広告宣伝・業務システム構築等のお手伝いをする個人事業主を経験してまいりました。行・民・個、それぞれの経験の中で、福祉に関連・関係する業務にも携わって参りました。

現在、福祉の分野におきましても、積極的な広報による事業の周知や提供サービスの周知、また介護現場でのICT等導入による、より充実したケアやサービス、スタッフの業務サポートが求められているところです。私の培ってきた業務経験を法人運営に活かしていきたいと考えています。

理事長という舵取り役を仰せつかり、その職責の重大さに戸惑っておりますが、平成8年の創設以来の、**理念「地域の方々の安心・安全な自立生活の支援」、介護方針「ゆっくり、いっしょ、わがまま」**を基に、今後求められるニーズへの正しい対応、今後進むべき正しい法人運営の方向を、評議員会の皆様、理事会役員、職員の皆様、行政関係の皆様、地域の福祉関連に携わる皆様のご協力を賜りまして進めていきたいと考えております。

利用者の皆様が健康で笑顔いっぱいにご過ごして頂けるよう努めると共に、職員が誇りを持って笑顔で職務に当たる職場づくり、地域に根差した施設づくり・サービスの提供を実現するため、微力ではありますが努力して参りますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたしまして就任のご挨拶とさせていただきます。

武石

Takeshi
Area

特別養護老人ホームともしび

県補助金により、床暖房と給湯用のボイラーを27年ぶりに新機種に入替しました

ともしびが平成9年に開設されて以来、27年ぶりにボイラーの入替工事を実施しました。総工費は1,650万円で、うち500万円は長野県のエネルギーコスト削減促進事業補助金を活用した事業です。



通常の施設では、工事期間中のお湯を確保するために仮設のボイラーを設置するなど費用が余計に必要となります。しかし、ともしびには大きなエコキュート(湯沸かし器)があり、今回は大変救われました。施設にとって必要最低限の能力に切替えて高騰する導入費用を抑えました。これからまた20年以上無事に働いてもらいたいと期待しております。

JKA補助金により特殊浴槽を2台導入

このたび公益財団法人JKA様より多大なご支援いただきまして、長年活躍の寝位浴槽(ストレッチャー浴)を最新機種に更新しました。同時に、かねてより要望の強かった座浴浴槽(チェア浴)の新規導入も実現致しました。これにより、ご利用者はもとより、職員にとりましても、安心して入浴に関わる環境が整備されました。



寝位浴槽は、座った姿勢の保持などが難しい方向けのお風呂で、ストレッチャーに仰向けの姿勢のまま髪や身体を洗ったりし、湯船にゆったりと浸ることができる浴槽です。一方チェア浴は、専用のイスを使用して、脱衣室から座った状態のまま移動し、スマートに入浴することができる浴槽です。

これら最新の浴槽の導入により、入浴シーンにおける様々な不安感はなくなり、浴室から外の風景を眺めながら、広々とした湯舟に浸かっていただく事ができるようになりました。

JKA補助金活用による浴槽の配備により、入浴介助の業務も大幅に改善されます。例えば、湯温管理や浴槽の衛生管理、入浴時間の管理に誤作動防止の管理と我々職員に成り代わり、様々、最適な入浴環境の実現をサポートしてくれる機能を搭載しています。

浴槽のセッティングの場面でも、あらゆるセンサー



が介助スタッフの誤操作を見張ってくれています。例えば、所定の操作と少しでも合致していなければ、安全を考慮して動作できなくするなど、以前よりも事故を未然に防ぐことができるように進化しています。

また、従来は小柄な職員は踏み台を使っての入浴介助を強いられていましたが、新たに導入された浴槽は、縁までの高さが低く抑えられており、安全な姿勢で入浴介助ができ、腰痛予防への考慮もされています。そのほか、浴槽、配管などを自動で消毒ができるため、清潔な環境で気持ちよく入浴いただけます。導入後の職員研修も2度開催され、安全な運用への備えは万全です。



入浴は、身体の衛生を保つためだけでなく、ご利用者の気分転換やリラックスにも繋がります。新しく安全なお風呂で、今後もよりいっそう入浴時間を楽しんでいただけたらと思います。

一般浴用の浴槽を清潔で機能的なものにリフォームしました

現在施設をご利用される方の半数以上が特殊浴槽を利用されていることから、一般浴槽の面積の縮小工事と同時に、新品で美しい蛇口への変更と、素敵なカラーのタイル張り工事を実施しました。面積的には従来の約5分の2の面積となり、今回新たに浴槽内に階段と手すりなども設け、安全で機能的な一般浴に生ま



れ変わりました。

浴室が全体的に広々しました。新たに導入された特殊浴槽も安全に使用できる環境が整いました。

特別養護老人ホーム ともしび



ともしび玄関ホールのLED照明化

これまで水銀灯などで対応してきましたともしびホールの照明を、今年6月に費用をかけまして灯具ごと新規交換工事を行いました。

全11灯ですが、地上から10m以上高いところに設置されているため高所作業用特殊機械が入ったの工事となりました。

下から見守る私たちの方が怖くなってしまいうような作業でした。

工事完了後は、上田市からも指定を受ける福祉避難所として照明に関する不安が払拭され、自信をもって運営にあたる事が出来ます。

同時に省エネ効果もあることから、エネルギーコストも削減される予定です。

建設当時の設計は素晴らしく、ホールの中心には

立派なシャンデリアが鎮座していました。しかしながら東日本大震災などを経験し、被災時の落下による二次災害の危険性を考慮し、誠に残念ではございましたが、惜しまれながら撤去され現在に至ります。



しかしながら、施設全体は、基本設計がしっかりしており、ホールは天井が高く開放感にあふれ、窓からは豊かな山々や天気合わせた景色の変化を感じることが出来ます。

普段はご面会の場であったり、ボランティア交流

の場であったり、四季折々、様々な行事をみなさんと集まって行く場所として大切に使用されています。



依田窪福祉会居宅介護支援事業

タダより高いものはない？

残暑が続きますが、いかがお過ごしですか？今回は、暑さが吹き飛ぶ怖い話をさせて頂きたいと思います。時々ニュースでも話題になりますが、「〇〇商法」、「〇〇詐欺」についてです。誰でも、格安で手に入れられたものや、タダでもらったものがあつた時には、得をした気分で1日ちょっとした幸せを感じて過ごせるのではないのでしょうか。その人間の心理を利用したのが詐欺です。「タダでもらえる所があるからと、信頼している友人、親戚に誘われた。断れないけど、どうしよう。」とか、「高額のものを買わされてしまったけれど、知られたら怒られるかもしれない。恥ずかしい。」と、誰にも相談できない間に被害が拡大してしまっている可能性があります。

私たち、ケアマネジャーは定期的にご自宅に伺っていますので、そういった悩みを抱えている方がいらっしゃいましたら、一人で悩まずにお話ください。電話でも構いません。なんでも値上がりの時代です。大事な財産を守っていきましょう。



デイサービスセンター武石

デイサービスっていいもんだよ

武石のデイサービスをご利用しているみなさんが、デイサービスのことをどんな風を感じていらっしゃるのか、日頃の会話をのぞいてみてください。



こうして友達と一緒にいられるなんてありがたいことだよ。

同級生だったんだよ。うれしいねえ。お互い元気でいようね。

こういうところがあるのありがたいよ。

若いころはさ、お風呂が一番最後だったよ。今が一番幸せ。

ここに来れば仲間がいるから、わたしはそのために体調を整えているんだよ。

もう帰るなあ？

今日は泊まれないのかい？

どこに行くのも歩いて行ったよ。今はこうして車で送り迎えしてもらえるから助かるよ。

お風呂はいいねえ。生き返るよ…

こんなふうによくしてもらって今の年寄りら幸せだねえ。

毎日来ちゃだめかい？



皆さんのこうした言葉に、私たち職員は励まされ、活力を頂いています。年を重ねると出かけることは億劫になるし、着替えることさえ一苦労。でもデイサービスに行けば、そこには皆さんの目的があり、楽しみがあり、馴染みの顔が待っています。「今日も来てよかった…」「こちらこそ、ありがとうございます」暑い夏、みなさん頑張り抜きましたね！



ヘルプステーション じすもす

今年は梅雨の時期から、熱中症で救急搬送される方が多いとニュースでも話題になっておりました。涼しく過ごしやすい長野県も他人事ではなくなっていました。家の中にいれば熱中症は心配ないと思われがちですが、むしろ家の中で静かにしているほうが水分を取るタイミングを逃したり、汗をかかずに身体に熱がこもったりしてしまい、知らない間に症状が進んでしまう危険性があります。

私たちヘルパーは、ご利用者宅への訪問の際には、換気、ベッドリネンや冷房器具の調整、ま

た、体調に変化がないかを確認したり、水分補給をお願いしたりしています。特に体調に関しては、今年は新型コロナ感染症も重なり症状が分けにくい事例もあるため注意が必要です。

まだまだ暑い日が続くと思われます。「家の中でじっとしているし、暑くないから大丈夫」などと思わずに、是非ともご自分の身体と向き合い、来る秋冬に向けて体力、体調を整えていただけるようお願いします。



この年になって〇〇できるなんて!

3年ぶりに外出計画をしました。ご利用者の皆さんに、「どこに行きたい?何が食べたい?」と伺ったところ、「やっぱりお寿司がいいね!」「家で食べないような物が食べたい!」とたくさんの声が上がりました。お話をするだけで、わくわくしている皆さんの顔がとても印象的で、3年間我慢してきた分、色々計画を立て楽しんであげられたらと、こちらもわくわくしてきました。



ましてあげられたらと、こちらもわくわくしてきました。

外出第1弾! 「はま寿司→マクドナルド」へ出掛けてきました。「今までの回転寿司は、流れてきていたけど今は流れない、タッチパネルでの注文になってしまった

から難しくて外出が遠のいてしまった。」と話されていました。コロナの関係で世の中も色々変わり、便利になったようで高齢者にとっては大変なようです。

お寿司をたくさん食べた後は、マクドナルドへソフトクリームとフライドポテトを食べて来ました。「こんな年になってソフトクリームが食べれるなんて~」と皆さん大喜び。平均年齢は90歳。お見事!!目をキラキラさせ喜んでいる姿は何とも言えない喜びです。

こんな事もありました。レクリエーション活動でしゃぼん玉をしました。「しゃぼん玉は子供がやるものだと思っていたけど、こんな年でもやってみれば楽しいものだね。」と。

こんな年とは言わず、ご利用者の方がわくわくするようにこれからも計画をしていきたいと思えます。



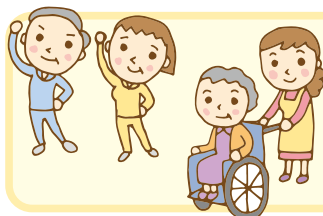
小規模多機能型居宅介護

大門の家

運営推進会議とは?

今回は偶数月に開催している運営推進会議をご紹介します。運営推進会議は、大門の家のような地域密着型のサービス事業所が提供するサービスの質の向

上のために義務づけられている会議です。(※地域密着サービスとは市町村が事業者の指定権限を持ち、ご利用者は地域住民に限定されます。)ご利用者、ご家族、地域住民の代表者、市町村職員などが参加し、事業所の運営状況やサービス内容、活動状況についての報告や評価を行います。また、事業所が抱える問題点や今後の取り組み等について相談・意見交換を行います。会議の主な目的としては以下の通りです。



- サービスの質の向上: 利用者により良いサービスを提供するため。
- 透明性の確保: 運営状況を明らかにすることで信頼性を高めるため。
- 地域との連携: 地域に開かれたサービスを目指すため。

また、地域密着サービスは、地域の方のためのサービスです。「どうすれば良いサービスになるのか」「高齢になっても住み慣れた家や地域で長く過ごしたい」という思いを形にするためのアイデアを生み出し、「生活支援」や「地域づくり」といった地域活性のきっかけを生み出す場でもあります。

次回の運営推進会議

次回の運営推進会議は 10月29日(火)9:00~ 大門の家で開催を予定しております。参加をご希望される方は事業所にご連絡いただければ幸いです。



グループホーム 和田

日常のひとこま

毎日の食事の用意では、ご利用者と職員での共同作業があります。「何かやる事はないかい？」そう言いながら意欲的に家事仕事をやって下さるため、野菜の皮むきや、おかずの盛り付けなどお願いしています。昔からやっている家事仕事は、お手の物ですね。



昨年から、ユーチューブで理学療法士の高齢者向け体操を行っています。歌体操などもあり、皆さん真剣に取り組まれています。ご利用者も職員も運動不足解消です。



デイサービスセンター 和田



季節に応じたイベントを毎月開催しています。4月は花見カフェ、5月は歌声喫茶、6月はつけば風釣リゲーム大会、7月はハワイアンカフェ、8月は夏祭りと季節感を取り入れたイベントで季節の移ろいを感じていただけるよう取り組んでいます。非日常的な体験を通していつもとは違う刺激が、精神的な健康に繋がっていきます。脳と身体の両方を用いたイベントで日々の活動量を増やし、身体機能の維持や向上を目指します。



また、イベントに使う飾り付けなどの準備にも参加していただき、指先を使った細かな作業も行っています。ご利用者と一緒に作り上げていくイベントで一緒に笑い楽しさを共有し、また次、また次とデイサービスを利用することを心待ちにくださる、そんな場所でありたいと願いながら日々奮闘しています。



ボッチャ交流会

デイサービスセンター
武石・長門・和田

まずは写真をご覧ください。

「いい所行ったよ!」「頑張って、それっつ」「あんな、練習より良かったよ」とあちらこちらから声が上がっています。

6月19日、和田・長門・武石の三つのデイサービスが集まり和田コミュニティセンターにて「ボッチャ交流会」を盛大に開催しました。風船バレー大会に引続く第2弾です。



ボッチャは、パラリンピックでも正式競技になっており、老若男女問わず身体に不自由がある方でも楽しめるスポーツです。写真の表情をご覧ください。普段では見られない真剣な表情でいい汗をかきながら楽しんでいらっしゃいました。

勝敗はさておき、いつもとは少し違った非日常で刺激を受ける事は、高齢者にとってとても大切なのだと実感しました。当日は地域の方にもお手伝いしていただきありがとうございました!



ご寄附ありがとうございました。

令和6年5月 ● 木製椅子型ポータブルトイレ 1台

令和6年9月1日

発行者: 社会福祉法人依田窪福祉会 理事長: 吉池 順一 編集: 広報委員会 所在地: 〒386-0503 長野県上田市下武石776-1
TEL.0268-85-2202 FAX.0268-41-4200 E-mail: info@yodakubofukushikai.jp